

日事連が全国会長会議

法定団体化への動きなど報告

日本建築士事務所協会連合会（日事連、三栖邦博会長）は27日、東京都内で全国会長会議を開き、写真、改正建築基準法の施行で厳格化された建

築確認に関するアンケート調査の結果や、法定団体化に向けたワーキングチームの中間まとめなどの報告を行った。

冒頭のあいさつで三栖

会長は「建築確認の停滞の影響は、さまざま分野に時間差で及んでくる。着工数を回復させるだけでなく、幅広い産業への影響を避けることも



重要な。現場の実情を知っている団体として、事態打開に向け努力を続けていきたい」と述べ、全国の建築士事務所協会の代表者らに協力を呼びかけた。

来賓の小川富田国土交通省大臣官房審議官は「今後の課題として、適

合性判定業務の円滑化、地域レベルの意思疎通、改正法の下での工事事例の積み重ねの三つに力を注いでいきたい。さらに改正建築士法、瑕疵（かし）担保責任履行確保法の施行が控えている。混乱なくソフトランディングさせるためにも日事連の協力をお願いしたい」と話した。

会議では、土法改正に伴う法定団体化に向け、▽定款等整備▽事務所登録事務対応▽講習および研修システム等整備など五つのワーキングチームから中間報告が行われた。

建設工業 2007. 11. 28